

第14回

- 講演者: 井原 健太郎 氏 (九州大学数理学府)
 - 題目: 多重ゼータ値の linearized double shuffle relations
 - 日時: 平成 16年 2月 24日(水) 16:00 ~ 17:00
 - 場所: 数学科セミナー室 4号館 3階

多重ゼータ値とは Riemann ゼータ関数の正整数点での特殊値を多変数化 (多重化) したもので、素朴な無限級数で定義される実数である (1変数のときが Riemann ゼータの特殊値)。多重ゼータ値たちの間には、有理数体上の様々な関係式 (線形関係や代数関係) が存在していて、例えば、多重ゼータ値が有理数体上張る線形空間は環構造を備えている。講演では、この環構造に関して、とくに環としての生成元の個数についての結果を述べる。詳しくは、多重ゼータ値間に存在する 2 種類の積構造 (shuffle 積) を用いて、生成元がゼータ値の変数の個数から定まる filter のどの階層にいくつあるかを評価する、という話を紹介したい。

From:
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2003/014>

Last update: **2017/11/27 11:15**

